

## 令和5年度尾張旭市一般会計補正予算（第2号）

### 討論要旨 川村つよし議員

この補正予算は、新しい市長の下で今年度予算の肉づけをされた補正予算という性格を持つものですが、大きく変化があるようには見えません。期待外れだと言っているのではなくて、新市長の色、柴田カラーを打ち出すにはもう少し時間も必要なのだろうと受け止めていること、また、拙速に無理をしていないと思える予算として、取りあえず安堵しました。

施政方針で、市長が従来にはなかった斬新な事業を取り入れることにも腐心しましたとおっしゃっていますが、チャレンジ事業の創設とトイレ改修事業にその辺りが表れているのかと解釈していますが、私としては、3月の他会派の議会質問に対する答弁で、パートナーシップ制度導入についてはっきり言及されていたことに変化を感じています。また、これは重点事業概要の多様性ある社会を推進しますの中にも記載があり、議会質問で導入を求めた議員としてもうれしく思っております。

以下、まず評価する内容を列挙します。

1つ目は、要保護児童対策推進事業におけるヤングケアラー検討会議運営支援委託料です。

ヤングケアラーについても、議会質問で取り上げた課題です。支援を必要とする子供たちを見つけるのは難しい課題だと思いますし、そのアンテナの役割の多くを小中学校や保育園の先生たちに依拠しなければならないと思います。教員や保育士の増員はここでも必要な課題だということを併せて指摘しておきたいと思います。

2つ目は、環境保全対策事業、省エネ家電買換促進事業費補助金と小規模企業等振興事業、省エネ設備更新補助金についてです。

事業としては物価高騰対策としてまとめられていますが、私は、地球温暖化対策としての効果を評価しています。令和2年9月に、私は、事業所向け温暖化対策の強化を求めて議会質問をしています。それに通じる施策で、交付金がなくても持続してほしいと思いますし、中小零細企業支援策として、地球温暖化対策として、一石二鳥の施策だと思います。

また、都市環境委員会における質疑を聞いていて思いましたが、これらの事業はどうしても早い者勝ちになってしまう、御高齢の方は申し込みたくてもできない可能性があるのではないかと、あるいは、介護事業所などでもエアコンを更新していただくことで省エネ対策にもなり、その費用対効果も小さくはないのではないかと、そのようなことを考えました。ぜひここはさらなる施策展開を考えられないかと、検討を促しておきます。

3つ目は、学校給食センター運営事業における賄材料費の増額です。

給食費を値上げしないで、子供たちにこれまでと同様においしい給食を提

供する、物価高騰対策だと受け止めております。給食費については、他市町で様々な動きがありますが、収入の少ない家庭ほど収入や支出の変動に弱く、それが一因となって不安定な状況になることもあると言われております。現時点で値上げを抑制するというのは、よい方法だと思います。私は、小中学校の給食費を無料にしたいと、そんな話をして市議会議員選挙に臨みました。ですから、無料にするようにも求めます。市の財源を何とか捻出し、国の補助がなくても実現してほしいと、市の努力を求めておきます。

次に、批判点を2つ挙げておきます。

これは、当初予算にはなかったけれども、予想どおり復活してきた継続事業ですが、矢田川河川緑地整備事業については、やはり批判をしておきます。

ここにおられる皆さんは、あの矢田川の緑を目にする機会が少ない人が多いのではないのでしょうか。以前、旭台に住んでいる知人をウォーキングに誘って一緒に歩いたことがあるのですが、ここも尾張旭なの、こんなにいいところがあるなんて、何年も住んでいるのに知らなかったと驚いてみえました。2メートルの自転車道を4メートルにする。景観は台なしになってしまわないか、立ち止まって考えてほしいと思います。

委員会では、自転車道の拡幅について3つの問題を指摘しましたが、あの景観が損なわれるのは尾張旭市の損失だと思います。

次に、三郷駅周辺まちづくり事業についてです。

市の予算で56億円の負担、将来の財政がさらに硬直化してしまうのではないかと、心配をしています。

もし私と同様に不安だと考える議員諸兄の皆さんは、一緒に補正予算に反対しましょうと呼びかけて、反対討論といたします。